

## 2023 年度 第 1 回拡大職員会議「学童保育所の生活のなかでの安全」レポート

【クラブ】（ あおぞらクラブ ）  
【名 前】（ 花田 幸奈 ）

心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

本日の研修では記録係としての参加だったため、後半のグループワークには参加していませんが、みなさんの発言や前半の話の部分で感じたこと、気づいたことがいくつかありました。子どもたちが遊んでいるイラストから 20 個以上の危険個所を探すという危険余地のトレーニングでは、自分一人では気づくことのできなかつた危険がいくつも潜んでいることを知り、もっと危険を予測する力を身に着けていかなければならないと思いました。また、トレーニング 2 の公園では、「遊具と遊具の距離の近さ」が危険として挙げられていました。公園の広さ、遊具の配置は私たちにはどうしようもないことですが、子どもが安全に遊べる公園であるのかを大人が判断することはできると思います。公園と同様に室内でも、狭いスペースで子どもが大人数遊ぶということは、危険が増えるということを経験し、改めて広いスペースの確保が、ケガや事故を防ぐことに、大きく関わってくるのだと思いました。今回のトレーニングを機に、自分のクラブの室内、よく利用する公園、公園までのルート、それぞれの危険個所を、現場の指導員で確認したいと思います。

また、大人が事前にすべてのことを「危ない」と声をかけるのではなく、子どもたちが自分で気づけるように、大人が働きかけをしていくのも必要なことだと思いました。

※提出されたレポートは、当会のホームページや広報誌に掲載する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※×切は、12 月 3 日（日）です。常勤専任指導員に手渡し、または、okazkaigakudou@yahoo.co.jp までお送りください。